

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	A：「認知科学的転回」とアイデンティティの変容
研究テーマ名	アイデンティティの内的多元性：哲学と経験科学の協同による実証研究の展開
研究代表者	竹澤 正哲
所属機関・部局・職	北海道大学・大学院文学研究科・准教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>なぜ我々は「他者も自分と同様の自己を持つ存在である」と知ることかできるのかという哲学における「他者問題」を「自他の重なり合い」仮説という検証可能な仮説に落とし込み fMRI 実験と深層学習をもとにしたシミュレーションで哲学者と実証科学者が緊密に連携して解明をめざし、有望な知見を得て成果発表を進めている。ただし、「他者問題」についての哲学分野での批判的議論をどう捉えるかや実験の妥当性などについては、今後さらなる検証が必要とされよう。学内研究施設として、人間知×脳×AI 研究教育センターを発足させ、人文学と実証科学が融合した大学院レベルの教育プログラム等の活動を開始している点も評価できる。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、期待どおりではないが一定の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い